



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校

校長 田頭 麗宏



## 忙しさを楽しむ母や夏休

阿部 みどり女



夏休みになって、久々に帰省してきた子ども（や孫等？）を迎えるお母さんの気持ちが伝わってくる句です。小学生のお母さんの中にも同じような気持ちの方がいらっしゃるかもしれませんが、今年は通常の夏休みよりもずっと短い11日間（8月6日～16日）です。より充実した日々を送っていただけたら、と思います。

とは言え、連日の報道のとおり、新型コロナウイルス感染に関して予断を許さない状況の中の夏休みになりそうです。若年層の感染や家族内感染が顕著になっていることも踏まえ、日頃と同様の、いや日頃以上の健康管理や行動把握をお願いいたします。

11日間の夏休みを終えたら、17日（月）から授業再開です。これまで経験したことのない時期の学校生活が続きますが、熱中症等に注意しながら学習を進めていきます。



## 「スマホ漬け」「ゲーム漬け」の毎日を送っていたら…

全国的に長く続いた休校の弊害のひとつとして「（インター）ネット依存」の広がりが見られます。スマートフォンやゲーム機、タブレット、パソコン等に触れる時間が長くなり、最終的には、手放せない、頭から離れないという状態になってしまった子どもたちが増えているということです。具体的には、オンラインゲームにはまったり、ユーチューブなどのコンテンツ（アニメや動画）を見るのをやめられなくなったり、といった症状があります。また、SNSでの友だちとのコミュニケーションをやめられないのも「依存」のひとつと言えます。



これまで、インターネットについては便利である反面、さまざまなトラブルにつながる危険性があることを耳にされたと思います。不適切な書き込みや仲間外し、生活時間の乱れ、個人情報流出、性被害、有害サイト閲覧、ゲーム（年齢制限あり）での高額課金など、挙げたらキリがないほどです。しかし、そうしたトラブルが生じなかったとしても、ずっとインターネットのことを考えてしまい、インターネットを使うことがやめられなくなってしまうと、それ自体が大きな問題なのです。

「（インター）ネット依存」は、WHO（世界保健機関）が認定した「病気」です。「依存症」としては「アルコール依存」や「ギャンブル依存」がありますが、これらと同様、早いうちに治す必要があります。抜け出すことができず、「引きこもり」になったり犯罪を引き起こしたり、という事例も増えていることから、絶対に「発症」しないよう、各ご家庭での責任のもと管理をお願いいたします。

今日から12時下校。夏休みを挟んで、17日（月）～26日（水）も12時下校です。子どもたちにとってたっぷりの時間をどう過ごすのか、その中でネットとどう付き合うのか、「スマホ漬け」「ゲーム漬け」の毎日を送っていたらどうなるのか、をしっかりと話し合っていただけたらと思います。



★ コロナ対策の一つとして、継続的な体調管理と行動管理が重要です。お手数をおかけしますが、**夏休み期間も、「健康チェックリスト」の記載**をお願いいたします。

★ 登下校中の暑さが気になります。子どもたちには「気分が悪くなった時、両手を広げて周りに人がいなければマスクをずらしましょう」と指導しています。同様の声かけをお願いします。



たいへん蒸し暑い中、先月末の個人懇談会にご来校いただき、ありがとうございました。担任が初めてお会いする学級が大半でしたが、有意義な懇談ができたことと思います。今後も、子どもたちのために連携いただきますようお願いいたします。